

2021-22年度R I テーマ
Serve to Change Lives
奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

R I 会長:シェカールメータ

TAKEHARA ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報

会 長	福本 博之	会 計	片岡 佑貴	直前会長	久藤 孝仁
会長エレクト	板場 英行	副 会 計	大森 寛	管理運営	木村 安伸
幹 事	宮本 和彦	S A A	宇都宮勝博	会員組織	吉本きよ子
副 幹 事	三好 静子	副 S A A	野田 眞治	奉 仕	堀越 賢二

事務局 / 〒725-0021竹原市竹原町3591
TEL / 0846-22-7570 FAX / 0846-22-7651
E-mail / rc-take@estate.ocn.ne.jp
http:www.takehara-rc.com

例会日 / 毎週木曜日12:30~13:30
例会場 / 大広苑 TEL(0846)-22-2970

本日のプログラム 11月18日

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話・年次総会

次週のプログラム 12月2日

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生月該当者会員卓話

【2021年11月11日 第2724回 例会記録】



国際ロータリー第2710地区杉川聡ガバナー 広島空港RC・竹原RC合同公式訪問

会長幹事会 11:30~12:00 (VIPルーム)
例会 12:30~13:30 (鶴の間)
集合写真 13:30~13:40 (百合の間)
フォーラム 13:40~15:10 (飛鳥の間)

〈広島空港・竹原RC合同ガバナー公式訪問〉

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング：奉仕の理想
- ゲスト：国際ロータリー第2710地区
ガバナー 杉川 聡様
随員幹事 佐々木 宏様
G9ガバナー補佐 中川 康子様
補佐幹事 吉本きよ子様
- 広島空港RC会員 17名

- 会員数：15名（免除者：0名）
- 出席者：15名 □欠席者：0名
- メイク：0名 □出席率：100%

スマイルBOX

- 結婚記念日：大森、宮本
- 配偶者誕生日：堀越
- 特別スマイル：
 - ・杉川聡ガバナー
 - ・杉川ガバナーの公式訪問を無事に開催できたことを心よりお喜び申し上げます。（福本博之）

各会員各記念日（11月）

- 会員誕生日 宇都宮勝博
- 結婚記念日 大森 寛
宮本 和彦
- 配偶者誕生日 堀越 賢二

会長の時間



【会長 福本 博之】

こんにちは。竹原ロータリークラブ会長の福本です。杉川ガバナー、随員幹事の佐々木様、広島空港ロータリークラブの皆さま、竹原までお越しいただきまことにありがとうございます。会員一同、心より歓迎いたします。また、当クラブのガバナー補佐の中川さん、ガバナー補佐幹事の吉本さんには、今回の各地での公式訪問開催にあたってご尽力いただき、ありがとうございます。杉川ガバナーにおかれましては、卓話ならびにフォーラムでのご指導をよろしくお願いいたします。本日こうして公式訪問が開催できたことを心より嬉しく思っています。まだまだ影響が残るコロナ禍の中ではありますが、この機会にできる限りの交流を深めたいと思います。本日ご参加の皆様には、楽しんでいただければと思います。因みに、竹原クラブ以外の方は不思議に思われているかも知れませんが、数人が着用しているこのマスクですが、台湾の姉妹クラブ、羅東RCから贈っていただいたものです。ロータリークラブの友情に感謝して、短いですが会長の時間とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

幹事報告



【幹事 宮本 和彦】

- ・11月ロータリーレート 1 \$114円
- ・地区大会登録者へ記念品が届いています



ガバナー公式訪問



国際ロータリー第2710地区
ガバナー 杉川 聡様

それでは改めまして、皆さんこんにちは。

本年度ガバナーを務めさせて頂いております広島西南ロータリークラブに所属しております杉川と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

8月の後半から9月いっぱい緊急事態宣言が発出されてしまいました。この合同例会は本来早い時期での開催予定でしたが、この時期にリアルでこういう形で皆様方とお会いさせて頂けることが出来たので、心から感謝申し上げます。

一昨日は萩クラブでしたが、ZOOMでの公式訪問をさせて頂きました。現地ではメンバーの方は会場へ集まられてスクリーンがあってスクリーンにZOOMで私が話をさせて頂くというような内容がありました。リアルにこういう形で皆様と同じ目線でお話が出来、それに越したことはないなと実感をしております。

今日で地区内72クラブありますが、皆様の二つのクラブで60クラブ目であります。五つくらいZOOMでの公式訪問になります。例会を急に中止をされたり等々はありましたが、公式訪問自体は中止をすることなく全て実施させて頂いております。コロナ化で色々制約がある中ではございますが可能な限り対応してまいりたいと思っております。

それでは簡単にまず自己紹介をさせて頂きます。1957年に広島市内で生まれ、先日誕生日を迎え現在64歳でございます。大学卒業後、一年足らずですが金融機関を経て、1985年27歳の時に社長で就任しました。社長歴37年目になります。義父の経営する不動産管理会社に入社し、現在は、不動産事業以外に、福祉事業・フード事業を中四国で展開させて頂いております。

ロータリーには1997年10月7日、誕生日の一

日前39歳の時に入会させて頂き、16-17年度に会長を経て、今年度のガバナーに就任させて頂きました。21-22年度はどういう年になるかなとガバナーになるまでのノミニー、エレクトという2年間あるのですが、コロナが流行る前でしたので、オリンピックも終わって、オリンピック用の景気が高揚したのが少しずつ後退する景気の悪い年になるのかと感じておりました。しかしコロナの影響でオリンピックが一年延びましたし、残念ではありますが、11月に入ってもコロナの影響を受けながらロータリー活動をしているということでもあります。記憶には随分残るこの2021-22年度になってくるのかと思っているところでもあります。

ロータリーに入らせて頂いて、皆様も色々な経験をされたり、色々な活動されたり、色々と感じられるところがあると思います。私がロータリーへ入って一番影響を受けたのは「職業奉仕」という概念であります。高い倫理観を持ち自らの仕事を遂行するという事でしょう。私は不動産の管理業をしておりますが、その中でお客様には誠心誠意仕事をさせて頂いておりますが、職業奉仕の概念についてなかなか手ごたえがない感じでありました。しかしロータリーの先輩から、障がい者の就労支援をしてはとのお話を頂いて、それからは職業奉仕を自分の中ではある程度実感しながらロータリー活動が出来ているのかなと強く思っています。皆様もいろんな職業の方がいらっしゃいますから、職業に応じて地域社会をよくするために精一杯頑張られていると思います。ロータリーの大切な理念・考え方だと思います。職業奉仕を中心にロータリー活動が成り立っていると思っておりますのでそれは大切にしていきたいと思っております。

それでは、シェカール・メータ RI 会長のご紹介をさせて頂きます。シェカール・メータ会長は、インドのカルカッタのご出身で、カルカッタ・マハナガル RC に所属されておられます。コロナに今年の3月頃に罹患されたそうです。ほどなく回復されて制限がある中ではありますが、可能な限り世界を飛び回っておられます。

仕事は、会計士をされており、自身が設立された不動産開発会社「Skyline Group」の会長を務められ、カナダを本拠とする「Operation Eyesight Universal (India)」のディレクターも勤められています。

RI会長テーマは、「Serve to Change Lives」和訳は、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために。」であります。皆様も同じような体験をさ

れたことがあると思いますが、シェカール・メータRI 会長は、ロータリークラブに入会された際に訪れた僻地での奉仕活動により、奉仕の必要性について目覚められ、人のために世話をし、奉仕することが最良の生き方。なぜなら、その経験を通じて誰かの人生だけでなく、自分の人生を豊かに出来るのだから。と感じられ、ロータリー活動に、のめり込んで行かれたようでございます。

シェカール・メータ会長は年次目標として次の3点を掲げられました。

一つ目は、会員増強です。「2022年7月1日までに会員数130万人を目指します。」であります。皆さん一人一人がお声かけをお願いします。

次は、「ロータリー奉仕デー」の実施であります。いくつかのクラブが合同で、多団体も巻き込みながら、可能な限り大きなイベントとして社会の認知度を上げるために実施をしてほしいというのが狙いでありです。最後は、女子のエンパワメントに力を注ぎ、教育、リソース、奉仕、機会など、未来の女性リーダー成功に必要な手段を与えて下さい。と、おっしゃられています。

ここで言う「女子のエンパワメント」は女性の活躍の場を増やしていくと解釈頂ければと思います。来年初めてRI会長にカナダから女性の方が就任されます。

この3つ目標をメータ RI 会長は強く発信されました。是非とも、各クラブにおかれましては、この目標達成のため、全力で対応願いたいと思っております。

シェカール・メータ RI 会長が今年の2月に講演された中で私が一番記憶に残った言葉、「人のために世話をし奉仕することが最良の生き方、なぜならその経験を通じて誰かの人生だけでなく自分の人生を豊にできるのだから」です。これを受けて、ガバナー信条は、「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。」～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう！！～と、させて頂きました。

ここに至る経緯を説明させて頂きます。17年ほど前に、ロータリーの先輩から連絡を頂き、先輩の作られた「お好み焼き店」に伺わせて頂きました。細かい説明は受けずに、お好み焼きを食べさせて頂き、店を出てから開業に至った経緯をお聞き致しました。その時はちょうど20歳くらいであったと思いますが、先輩のお嬢さんが障がいを持たれていて、特別支援学校を卒業後、障がい者施設に入所されており、その施設が運営をしてい

るお好み屋さんであると言う事でした。

「娘は、小さい時からずっと謝ってばかりだった。友達に知り合いに一生懸命付いて行こうとするのだが、どうしても上手くいかず、いつもごめんなさい。ごめんなさい。と謝ってばかりだった。親として、我が子に【働く楽しさ、生きて行く喜び】を是非体感してもらいたいと思っていた。それを知らずに生きて行くのは余りにも可哀そうだった。そこで、この店を作ったのです。ここで働くようになったら、お客様からありがとうって初めて言われたんですよ。生まれて初めて、他人から存在を認められたんですよ。その気持ち分かりますか？」って言われました。

とてもショックを受けました。この先輩は、お好み焼の関連の仕事をされていたので、障がいを持っていても使いやすいように店づくりにも工夫されておられました。お客様から、「美味しかったよ」「ありがとう」と言われた時の、お嬢さんの笑顔を今でも覚えております。この時に先輩から、障がいを持っていても、その障がいに合わせた仕事を作っていくことが出来れば、充分一人前の仕事出来るのだと教わりました。大変恥ずかしい話ですが、この話を聞くまでは、障がいを持った人に、健常者と同様の仕事を担当して貰うのは無理だと思っておりました。しかし、現在、弊社で働いてくれている多くの障がいを持った社員は、健常者とほぼ同じレベルで働いてくれています。この時は、障がい者に対する知識がなかったことを恥じました。そして、多様性を受け入れ、相互理解を深めて行く必要性をこの時に強く感じたところでございます。

そこで、「多様性を受け入れ、相互理解を深めよう。」をガバナー信条とし、一年間各クラブの皆様にお話をさせて頂こうと思っていた所に、今回のコロナ禍が発生を致しました。世界から、人種差別的な報道なども聞こえて来るようになりました。地区の皆様にお伝えして行くには、もう少し大きなテーマが必要だと思い、「みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか」をガバナー信条とさせて頂きました。4つのテストからの引用ですが、「今のみんなのためになるかどうか。未来のみんなのためになるかどうか」と読んで頂きたいと思っております。

SDGsが当たり前のような社会になって来ました。これからのロータリー活動は、未来を見据えた活動が必要なのだと思っております。今年度は、各クラブで、その地域に必要とされる未来のためになると思われる奉仕活動を是非とも実施して頂きたいと

思います。宜しくお願い致します。

それでは、今年度の重点運営方針を説明させていただきます。まず、地区はクラブの活動を支えて行くのが役割ですから、クラブ運営の積極的支援をさせていただきます。次に、会員基盤の強化をお願い致します。また、クラブのDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進支援もさせていただきます。ZOOMなどのツールを活用し、例会や会議などの対応力強化して下さい。

広島西南RCは昨年11月から毎例会はハイブリッドで行っています。随分便利が良いと感じております。10名位はZOOMを利用して出席されています。支店長さんとか出難い方が現実的にいらっしゃいます。卓話者が遠方に居ても卓話いただけます。広島東RCでは毎月一回東京からZOOMで卓話して頂いています。上手に利用されてはと思います。メータR1会長の最大の事業で有ります「ロータリー奉仕デー」の推進支援を致します。ロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力も増やして下さい。そして、最後にダイバーシティ理解を深める卓話を実施して頂ければと思います。宜しくお願い致します。

コロナの第6派が来るのではないと言われて、まだまだ予断を許さない状況が続いております。ロータリー活動を展開して行くには大変窮屈な状況ではありますが、その中で、ロータリーとして出来ることを確実に実行して参りましょう。コロナだから中止にしよう、コロナだから縮小しようばかりでは、大変残念です。コロナ禍でもこれだけの事を社会に対してやって来たのだと胸を張って言えるように、前だけを向いて頑張って参りましょう。あの一年はコロナ禍で大変だったけど、コロナ禍だから体験出来た事が沢山あって、あれはあれで記憶に話し合える事を願いながら、私からのメッセージとさせていただきます。前だけを向いて、頑張って参りましょう。宜しくお願い致します。

クラブフォーラム

日時：2021年11月11日（木）13：40～15:10

場所：ホテル大広苑

出席者：杉川ガバナー、中川ガバナー補佐、
佐々木随行幹事、吉本ガバナー補佐幹事
広島空港：11名、竹原：11名

司会進行：中川ガバナー補佐

1. 開会
2. 配布資料確認 フォーラム次第 席次表
3. 会長挨拶 竹原RC 福本会長
4. ガバ杉川ナーご挨拶
5. 出席者 自己紹介
6. 協議（フォーラム）

議題1) 会員増強について

□広島空港RC会員組織委員長 重森佳代子

Q.コロナ禍で地元経済は疲弊、会員増強は難しい状況ですが、何か良い方法があればご教示ください

A.杉川ガバナー：新しい仲間をぜひとも探してほしい。コロナで悪い報道ばかりですが景気の良い会社もあります。会員増強はコツコツやるしかない。下関のあるクラブは7月から4か月で8名の増加されたそうです。同業者の方を増やしたそうです。一業種一名が原則だったのですが、いまは5名となっている、そこはこだわるかこだわらないかは個々のクラブの判断です。福山では70名の会員の中で10組親子で入会されています。幅広く勧誘はできないと思います。身近な人ですよ。町内会、同窓、同じ業界、同じ団体など、委員長一人に任せるのではなく皆で声かけるよう努めたら良いのでは考えます。

□竹原RC奉仕プロジェクト委員長 堀越賢二

Q.例会時間に柔軟性を持たせなければ、退会防止や新規会員増強は難しいと思うが、他クラブでの好事例はありますか。

A.杉川ガバナー：福山と徳山で夜の時間帯で例会をされているところがありました。4回のうち二回は昼、二回は夜とされているクラブもあります。会員の創意で決められたら良いと思います。全国では夜例会の方が増えています。全世界でも夜です。例会時間は会員の皆様の思いの中で柔軟性を持たせたら良いのではないのでしょうか。

□竹原RC会長 福本博之

Q.若い年代や女性会員増強がうまくいっているクラブがあればどんなことをされているか知りたいです。

A.杉川ガバナー：退会防止という部分で、あるクラブでは、5年間一人も退会されてないそうです。それはすごいですねと話をついたら、皆さんが仲が良いそうです。ロータリー活動以外にも個人的に仲が良い。同好会の数も多く、コロナ禍で奉仕活動はしないけれども同好会は継続されてるそうです。仲の良い者同志で支えられているから退会しにくいということでした。

議題2) クラブの広報活動について

□広島空港RC広報委員長 三好敏之

Q.クラブの活動等をホームページに掲載したり、地区補助金による贈呈式など行事がある時は、地元メディアを通じて広報していますが、他クラブで参考になる広報の仕方や定期的にメディアを通じて広報されている事例があればご教示ください。

週報や会員名簿(氏名・職業分類・事業所)を、クラブのことを知ってもらうために載せていますが、会員しか見れないようにしているクラブもあります。ガバナーはどのようにお考えですか。

A.杉川ガバナー：ホームページは声掛けをした人が確認のために見られると思います。どんな人がいるかなと見られるんだと思います。それが出ていないとホームページは対外的機能がないのではないのでしょうか。

議題3) クラブのDX対応について

□竹原RC会長 福本博之

Q.オンライン開催でも楽しいと思える例会はどんなものなのでしょうか。

A.杉川ガバナー：DX対応はITのツールを使って生産性を高めるということで、ZOOMに限らず連絡用にlineグループを作ったり、Facebookで発信したり、いろいろなものがあります。ITツールを事務の簡素化になるような連絡が迅速にできるような使い方をされてはどうかと思います。例会はリアルに勝るもの絶対はないです。リアル例会が100点だとしたら、休会はゼロ点、その間でZOOMを使ったハイブリッド例会が何点ということでしょう。それ以上のことはできま

せん。私のクラブでも支店長さんが何名かいて東京で緊急事態宣言が出たら広島では出てなくても例会へ出席できない方もいました。ZOOMを通じて顔が見れるだけでも繋がりが保てると思います。原則オンラインでつくられたEクラブもリアル例会を増やされています。リアルで会わないと現実的には無理です。

議題4) ロータリー奉仕デーについて

□広島空港RC奉仕プロジェクト委員長 橋濱智美

Q.他のクラブのロータリー奉仕デーの取り組みで、ガバナーが魅力的だと思われたものを教えてください。

A.杉川ガバナー：ロータリー奉仕デーは今年限りです。複数のクラブが外部の団体も巻き込んでロータリー財団の7つの重点項目に沿って事業をしてほしいとRI会長が言われています。公共イメージを上げるための活動はした方が良いと思いますが、無理やり今までやったことのない奉仕活動を作られなくても良いと思います。

下関は、5クラブで毎年されているようです。広島南・西・西南RCは今年2月に初めて合同で奉仕活動をする予定です。8割くらいは新たな事をされないで、今までの奉仕活動を合同で試みるのも一つの案だと思います。

7. 講評 杉川ガバナー

柔軟な対応の中で仲間を増やして頂き、30名を目指して頑張っていたと思います。今日60クラブ目ですが、どこも違います。それぞれのクラブの良さを認識されて活かされて、それに賛同いただける方を一人でも多く誘っていただければと思います。

私たちは、地域・社会を良くしていく職業人の集まりとして、皆様と一緒に頑張っていきたいと思っています。

8. 謝辞 広島空港RC 熊谷会長

9. 閉会

